

## 現在、当院臨床検査部で実施している研究へご協力をお願い

### 1. 研究課題名

菌株遺伝子情報、薬剤感受性サーベイランス情報、DPC データを用いた薬剤耐性腸内細菌科細菌が臨床に及ぼす影響に関する研究

### 2. 対象となる方

2008年11月から2018年11月の間に、当院に入院し細菌培養検査を提出された患者のうち、大腸菌及び肺炎桿菌が検出された患者さん

### 3. 研究目的

薬剤耐性菌が予後に悪い影響を及ぼすことは明らかになっていますが、薬剤耐性菌が持つ薬剤耐性遺伝子の種類が予後にどのような影響を及ぼすかは解明されていません。今回、検出された大腸菌及び肺炎桿菌の薬剤耐性遺伝子データと薬剤感受性データ、臨床情報として厚生労働省に提出される治療法、予後等を含んだDPCデータを結合して薬剤耐性遺伝子と治療法、予後にどのような関連があるかを研究します。

### 4. 研究期間

2020年10月（倫理審査委員会承認後）～2022年3月31日（予定）

### 6. 実施方法

本研究は入院の際に作成される厚生労働省へ提出されるDPCデータを調査して行います。

また、対象期間中に検出された大腸菌及び肺炎球菌の薬剤感受性と薬剤耐性遺伝子情報は別途個人情報がわからない形で解析されているものを使用します。

DPCデータから使用する内容はDPCの様式1に含まれる以下の情報（性別、入院情報（入院年月日、入院経路）、退院情報（退院年月日、退院先、転帰）、診療目的・経過、前回退院、再入院調査、再転棟調査、身長・体重、喫煙指数、褥瘡、認知症高齢者の日常生活自立度判定、主病名、入院契機、医療資源、医療資源2、併存症、続発症手術情報、持参薬使用状況、入院時ADL、退院時ADL、入院時意識状態、退院時意識状態 Hugh-Jones分類、肺炎の重症度分類、心不全のNYHA心機能分類、肝硬変のChild-Pugh分類、その他重症度分類）です。

（個人を特定可能な情報は解析に用いません）

国立感染症研究所薬剤耐性研究センターと広島大学病院が共同でデータの統合、解析を行うため、この研究に使用する情報を提供させていただきます。研究に使用する情報は匿名化処理を行い、患者さんが特定できないようにしたうえで提供します。

## 7. 研究組織

広島大学病院 感染症科 教授 大毛 宏喜  
国立感染症研究所 薬剤耐性研究センター 矢原 耕史

### 試料・情報の提供機関

広島市立広島市民病院	木村 公重
広島赤十字・原爆病院	芝 美代子
県立広島病院	林 久美
JA 広島総合病院	池田 光泰
済生会広島病院	奥田 立子
広島市立安佐市民病院	播野 俊江
JR 広島病院	桑原 隆一
広島市立舟入市民病院	田上 芳子
庄原赤十字病院	辻 隆弘
尾道市立市民病院	森 三郎
福山市民病院	眞鍋 明広

## 8. 研究代表者及び研究責任者

研究代表者：

広島大学病院 感染症科 教授 大毛 宏喜

当院の研究責任者：

広島市立広島市民病院 臨床検査部 主任技師 木村 公重

## 9. お問い合わせ先

この研究は、広島市立広島市民病院倫理審査委員会の承認を得て実施しています。  
また、患者さんを特定できないようにしたうえで、学会や論文で発表する予定です。

この研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。  
また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒730-8518 広島市中区基町7番33号  
電話 (082) 221-2291 (代表)  
広島市立広島市民病院臨床検査部 木村 公重